

平成 21 年 12 月 28 日

県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

最近の県内景況は、生産活動や個人消費の一部に持ち直しの動きがみられるものの、雇用情勢が低迷し、観光関連も低調に推移するなど、全体として厳しい状態が続いている。

生産活動は、食品関連が伸び悩んでいるものの、電子部品関連が持ち直している。個人消費関連は、大型小売店（百貨店・スーパー）販売額は前年を下回ったものの、乗用車新車販売台数が前年を上回った。投資関連では、民間建築工事、住宅着工ともに低調なものの、公共工事が増加した。その間、観光入り込み客数は前年を下回った。

【生産活動】 ... 一部に持ち直し

電子部品関連は、IC 生産が前年の水準には及ばないものの、回復基調にある。

11 月の**生コン**生産（出荷量）は、民間工事向け出荷が前年を下回ったものの、公共工事向けは前年を上回り、全体で前年比 0.1% 増となった。

11 月の**紙パルプ**生産は、前年比 42.5% 減と引き続き低調に推移している。

木材関係は、住宅建設向け需要が弱いことから、製材品が生産、出荷ともに低調に推移している。

焼酎の生産は伸び悩み、未納税出荷の落ち込みで、出荷は減少傾向が続いている。

かつお節生産は、前年を上回る水準で推移している。

【畜産関連】 ... 低調

肉用牛（和牛）の枝肉相場が低調に推移し、子牛価格は前年を下回っている。また、豚肉相場も前年を下回る水準で推移し、**ブロイラー**相場は上昇するも前年の水準に及ばない。一方、**鶏卵**相場は前年並みに回復。

【消費関連】 ... 一部に持ち直し

10月の**大型小売店**（百貨店＋スーパー）販売は、衣料品、食料品ともに前年を下回り、全体では前年比8.4%減と6カ月連続で前年を下回った。

11月の**乗用車**新車販売台数は、エコカー減税や新車購入補助金の効果により、48.0%増と4カ月連続で前年を上回った。車種別にみると、普通車が69.7%増、小型車が36.3%増となった。一方、**軽自動車**は9.6%減と12カ月連続で前年を下回った。

【観光関連】 ... 低調

11月の主要**ホテル・旅館**宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、前年比15.7%減と10カ月連続で前年を下回った。行楽シーズンとなったが、「篤姫」効果の反動、新型インフルエンザの流行などから、3地区すべてで減少した。加えて、種子島・屋久島地区も引き続き前年を下回った。

また、11月の主要観光施設入場者数は、ほとんどの施設で前年を下回った。

【投資関連】 ... 低調

11月の**公共工事**（西日本建設業保証調べ）は、補正予算の効果もあり、件数、請負金額ともに前年を上回った。

10月の**民間建築工事**は、棟数、床面積、工事費予定額のすべてにおいて前年を下回った。

10月の**新設住宅着工戸数**は、持家と貸家で前年を下回り、分譲も低調に推移するなど、全体で前年比19.1%減と11カ月連続で前年を下回った。

11月の主要**建設資材**卸売業者の売り上げは、前年を下回った。

【貿易関連】 ... 低調

10月の**輸出額**は、半導体等電子部品が前年を上回ったものの、タイヤ・チューブや科学光学機器などが減少となったことにより、全体で前年比27.4%減と8カ月連続で前年を下回った。**輸入額**は、原油及び粗油や穀物及び同調整品が大幅な減少となり、全体では前年比50.1%減と12カ月連続で前年を下回った。

【雇用情勢】 ... 横ばい

10月の有効求人倍率は、前月と同水準である0.36倍となり、雇用情勢は依然として厳しい状態が続いている。

【金融情勢】 ... 低調

資金需要は、企業の緊急保証制度等を利用した運転資金が一巡し、設備資金は弱含んでいる。

【企業倒産】 ... 前年を下回る

11月の**企業倒産**は、件数が2件と前年同月(11件)を下回り、負債額も1億82百万円と前年同月(16億52百万円)を下回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)鹿児島地域経済研究所(099-225-7491)